

安心して暮らせるまちづくりのために全力を尽くします

## ごあいさつ

昨年は社会不安がさらに増大した一年でしたが、年末の総選挙により国政も新しい体制でスタートしました。庶民の声の届く大切さは国でも市でも同じです。新政権に大いに期待したいものです。

一昨年の東日本大震災をうけて、被害想定が大きく変わり、いま各自治体で地域防災計画が見直されています。わたしも初当選以来6年間、「安全・安心のまちづくり」とのテーマで防災について取り組んでまいりました。女性の視点を生かす防災対策、防災教育等々、わたしが取り上げた内容は、国分寺市の地域防災計画にも反映されています。認知症対策も高齢化社会のいま、本当に深刻な課題です。それらひとつひとつをていねいに取り組み、市民の皆さまが安心して暮らしていける国分寺にするため、今年も全力で頑張っております。



ホームページ/ブログ毎日更新してます!  
<http://www.sunsun-kumiko.jp/>

Kumichan 通信



## 一般質問 (一部抜粋)

### ■安全・安心のまちづくりについて

(質問) 女性の視点を生かした防災対策を行うには、意思決定の場に女性が必要。

(市回答) 避難所の管理・運営に女性の視点の必要性を認識。地区防災センター運営協議会への女性の配置、相談窓口や意見箱等の設置を考えている。

(質問) 緊急速報メールは、登録をしなくても、携帯に自動配信されるので、視覚による情報提供として聴覚障がいの方にも対応ができる。庁内連携をして、情報が必要な方にお知らせすべき。

(市回答) 必要な情報は提供する必要があるため、地域包括支援センターや障がい者団体と連携して進めていきたい。

### ■認知症対策について

(質問) 認知症サポーター養成講座のコンビ二への働きかけを評価したい。今後も商工会への働きかけの継続を求める。

(市回答) 個別に依頼するなど、拡大に向けていく。

### ■こころの体温計について

(質問) 有効活用するために、がん検診などの発送文書にQRコードを刷り込んでいくなど工夫を。

(市回答) 提案内容については、研究しながらできるものは実施していきたい。

### ■その他

・ごみ減量化対策である集団回収促進のために、もっと市民に具体的な提案説明を行うべきと提案。

## 「安全対策が実りました(西恋ヶ窪1丁目)」

実績

姿見の池から一般道路にでるあたりは、道路幅が広く交通量が少ないため車もスピードを出しがち、そしてカーブで見通しも悪くなる場所。7月には、商用車と子どもが接触事故をおこしたことから、近隣の方から安全対策を求めるお声をいただきました。すぐに担当課に申し入れをし、翌月には新しい注意喚起の看板を設置してもらいました。この看板は従来のものとちがい、ソフト素材でできており、夜間も見えるものです。交通事故防止には双方の注意が必要。ドライバーはもちろん、歩行者自身も飛び出しには注意しましょう。



設置前



設置後

## 視察

## 「再び、被災地に行ってきました(10月25日~27日)」

10月、仙台市で行われた日本女性会議 2012 仙台に参加してきました。「女性たちが語る 3.11 (これまでと今と)」というテーマで開催され、被災地で復旧支援に携わった方々の生の声をお聞きし「女性の視点を生かした防災対策」を学びました。

震災直後の5月に行った東松島市にも再び訪問。瓦礫はきれいに撤去され、津波被害でこわれた家、折れた電信柱もなく、雑草が生い茂った空間だけが何もなかったように存在していました。被災地はまだまだ復興というよりも、復旧途上。わたしたちは懸命に生きている被災地の皆さんのことを決して忘れてはいけない、と強く感じてきました。



(平成 24 年 10 月仙台視察 日本女性会議)

